

科目名	哲学 A	科目コード	30451
-----	------	-------	-------

学科名・学年	全学科・5年（プログラム2年）
担当教員	鈴木 覚（一般教育科）
区分・単位数	履修単位科目・選択・1単位
開講時期・時間数	前期，30時間【内訳：講義28，演習0，実験0，その他2】
教科書	なし
補助教材	プリント
参考書	授業中に随時指示する。

### 【A．科目の概要と関連性】

哲学の基礎的事項や基本文献を取り上げる。哲学的教養を増やし、「哲学すること」の意義を理解する。

関連する科目：法学（前年度履修），社会学（前年度履修），哲学B（後期履修）

### 【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(A)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
哲学の伝統的な諸問題について理解する	70%	A1
哲学的な文章の読解力を身に付ける	20%	A1
主体的に考える態度を身につける	10%	A1

### 【C．履修上の注意】

授業で取り上げる文献は主に日本語の文献であるが、それ以外に、簡単な英語の文献も扱う予定である。その点を了解の上で履修すること。

### 【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

定期試験（90%）【内訳：前期中間44，前期末46】

その他の試験（10%）

レポート（0%）

その他（0%）

【E . 授業計画・内容】

前期

回	内容	備考
1	科学と哲学（1） / 哲学史の基礎（1）	
2	科学と哲学（2） / 哲学史の基礎（2）	
3	科学と哲学（3） / 哲学史の基礎（3）	
4	科学と哲学（4） / 哲学史の基礎（4）	
5	科学と哲学（5） / 哲学史の基礎（5）	
6	科学と哲学（6） / 哲学史の基礎（6）	
7	前期中間試験	試験時間：50分
8	試験解説と発展授業	
9	存在と認識（1） / 哲学史の基礎（7）	
10	存在と認識（2） / 哲学史の基礎（8）	
11	存在と認識（3） / 哲学史の基礎（9）	
12	存在と認識（4） / 哲学史の基礎（10）	
13	存在と認識（5） / 哲学史の基礎（11）	
14	存在と認識（6） / 哲学史の基礎（12）	
-	前期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	